## 【授業科目】特別研究Ⅱ（老年看護学）　　Master's ThesisⅡ

| 担　当　教　員 | 開講年次 | 選択必修 | 単位数 | 時間数 | 授業形態 | オフィスアワー |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 三好 陽子 | ２年次<br>前　期 | 選　択 | ３ | ９０ | 演　習 | 巻末<br>掲載 |

| | |
|---|---|
| 授業概要<br>（内容と進め方）<br>及び<br>課題に対する<br>ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法 | 文献のクリティークを通して自分の焦点化した研究課題を明確にして、さらに文献の批判的検討を深める。<br>研究計画書を作成する。<br>研究計画書については時間内に複数回の発表を行い、出席者の批判を仰ぐものとする。<br>研究計画書の作成過程では、当然に倫理的問題も検討しなければならない。さまざまな基準から、倫理的問題についても対処できるものを作成する。<br>授業は、実務家教員（三好）が進める。<br><br>課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法/スーパーバイズを適宜実施する。討議やプレゼンテーションを通してコメントを行う。 |
| 授業の<br>位置づけ | 本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。 |
| 到達目標<br>（履修者が到達すべき目標） | ①文献検索・文献検討を行い、研究課題を発見し明確化できる。<br>②研究課題を解明するための適切な研究方法を検討することができる。<br>③対象者への倫理的配慮を考えることができる。<br>④研究計画書を企画することができる。<br>⑤倫理委員会申請に必要な書類を作成し、所定の手続きを実施することができる。 |
| 時間外学習に<br>必要な<br>内容・時間 | 研究テーマに関連する国内外の文献を幅広く検索し、文献検討を行い研究計画書の作成に臨む（各授業の準備、授業後のまとめ、次回課題の明確化として各授業前後で４時間程度）。<br>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。 |
| 授業計画 | 1～7　研究課題の検討<br>老年看護学における研究課題に関する文献検討をさらに重ねて、研究背景を明らかにする。<br><br>8～15　研究方法の検討<br>１）探究したい研究デザインについての検討<br>２）探究したい現象についてのデータ収集方法の検討<br>３）探究したい現象についての研究での倫理的配慮の検討<br>４）探究したい現象の具体的なデータ収集方法の検討<br>（質問項目作成、インタビューガイド作成などのプレテスト）<br><br>16～35　研究計画書の作成<br>１）研究課題・研究背景（先行研究・文献検討、研究枠組み等）<br>２）研究の目的・意義<br>３）研究方法/研究デザイン・データ収集の方法・期間・データ分析の方法<br>（アンケート、インタビューガイド作成　等の作成も含む）<br>４）安全性の確保（予想される有害現象と対策）人権・疲労・プライバシー保護に関する配慮<br>５）研究依頼に関する検討<br>（研究協力者・施設長への依頼文書の作成等も含む）<br><br>36～45　倫理審査委員会提出書類の作成・申請手続き（機関・施設の基準に準拠する） |
| | 全て<br>三好 |
| 評価方法<br>評価基準 | 演習における積極性および課題の取り組み状況などを踏まえ、研究計画書を総合評価する。 |
| 教科書 | なし |
| 参考書等 | 配付資料<br>参考文献についてはその都度提示する。 |